

三泉地区ワークショップのまとめ

【農業】

	課 題	対 応 策	役割 (行政・協働・地域)	いつやるか (短期・中期・長期)
1	今後の農業について (高齢化による担い手不足や後継者不在による農業者の減少) (新規就農者が少ない) (離農等による収穫可能な果樹の伐採) (耕作放棄地の増加) (委託できる農家が限界)	・新規就農者への支援の充実(作業小屋付物件など斡旋) ・就農時の初期投資に対する支援	行政	中期
		・気象変動に対応するため、新作物の栽培を検討 ・離農者と新規就農を希望する人のマッチング ・生産法人など大規模な農業経営が必要 ・新規就農者に空家と農地をセットで紹介	協働	長期
2	三泉(寒河江)ブランドのさくらんぼの維持について (さくらんぼの産地の維持)	・栽培技術の継承 ・栽培農家の育成 ・既存農家が新規就農者を指導しながら農地を継承する	協働+JA	長期

【観光・商業・文化】

	課 題	対 応 策	役割 (行政・協働・地域)	いつやるか (短期・中期・長期)
1	商業施設の確保について (地区内に買い物する場所がない) (高齢者が多く買い物弱者の対応が必要) (JA三泉支所が廃止され不便)	・商業施設の誘致	行政	中期
		・移動販売車が区内を定期巡回し、買物の機会を提供	行政+民間	
		・循環バスやデマンドタクシーなどの移動手段の整備	行政	長期
		・宅地と商業施設をセットにした開発の実施	協働	
		・空家を活用した物販・飲食店の起業支援	協働	
・旧JA三泉支所に週何回か出張相談など依頼	JA	中期		
2	三泉の地域資源を活用について (清流寒河江川の復活) (川が濁り、鮎が住めない環境になっている) (水の良さを活かした取り組みを検討) (地下水が冷たくておいしく、水を使った町おこしにつなげていけないか) (ウイスキー作りに適した良質な地下水が評価された)	・西川町の上流側で対策を講じてもらい水質を改善	行政	中期
		・地下水を製品化(ミネラルウォーター)し特産品として販売する ・ウイスキー・クラフトビールを製造して新たな特産品にする(ホップ栽培をする)	民間	長期
3	観光客の減少について (さくらんぼ狩りに訪れる観光客が減少した) (寒河江市を訪れるインバウンド客は少ない) (寒河江川沿いの桜並木が美しいが、観光シーズンは車の渋滞発生) (仙台圏からの観光客は天童や東根でとどまってしまう)	・観光資源を組み合わせせ点ではなく線と面へ各施設の連携を検討 ・チェリーランドからの三泉をつなぐ橋の整備(自転車、歩行者専用)	行政	中期
		・インバウンド客の誘客対策を強化する		長期
		短期		
4	文化的な事業の実施 (作品を飾れる場所)	・文化施設、医療施設など分野を分けるなどメリハリをつけ、10年くらいのスパンで集中的に取り組む。	協働	長期

【交通】

	課 題	対 応 策	役割 (行政・協働・地域)	いつやるか (短期・中期・長期)
1	公共交通機関について (上河原・道生・雲河原・入倉に公共交通手段がない) (地域内に主要地方道寒河江村山線にバス停2カ所しかない) (路線バスは土日祝は運行されていない) (デマンドタクシーが運行されていない)	・デマンドタクシーや循環バスの運行 ・高齢者や運転免許返納者へのタクシー券などの配布 ・路線バスの運行費用に助成 ・100円循環バスのように低額で市内を回れると良い ・気軽に使える交通手段	行政	中期

【人口減少】

	課 題	対 応 策	役割 (行政・協働・地域)	いつやるか (短期・中期・長期)
1	人口減少について (若い世代の流出進学などで三泉を離れた子どもが戻ってこない。魅力がない) (学校がなくなることが理由(子育てが不安)で三泉から出ていく人が増加する) (子供会が維持できず、イベントができない) (子供が少なく、賑やかさが欠如)	・Uターン、Iターンなどの就職者への優遇措置 ・「移住ごっこ(短期移住体験)」の実施 ・地元就職者の優遇措置 ・移住をアテンドする人材や拠点を整備 ・移住のきっかけとなるイベントの開催	行政	中期
2	魅力づくり、魅力発信が不十分 (三泉地区のことをもっと知ってもらわなければならない) (寒河江にはいいところがあるに知られていない) (若い人が残るための刺激が少ない) (新たな魅力を見つけ発信し、活性化が必要) (他からの転入者に対して受入態勢が整っていないに知られていない)	・三泉(寒河江)の魅力を発信 ・何か日本一を作る ・キャッチフレーズをつける ・魅力づくりの具現化	協働	中期
		・地域の受け入れ態勢の発信 ・情報の共有化、話題の提供(アクセスの良さの発信)		短期

【福祉】

	課 題	対 応 策	役割 (行政・協働・地域)	いつやるか (短期・中期・長期)
1	高齢者や一人暮らしが取り残されない生活・防災対策について (高齢者が多いため、共助が重要) (災害時に高齢者の援助が必要) (交通手段が確保できない) (買い物弱者への対応が必要)	・地域コミュニティの活性化	地域	中期
		・地域が災害時の要援護者等の情報共有		
		・タクシー券などの配布	行政	
		・デマンドタクシーや循環バスの運行 ・移動販売車が区内を定期巡回し、買物の機会を提供	民間	
2	高齢者世帯の除雪について (除雪や自宅雪下ろしに苦慮している)	・不安なく生活できるように支援体制を整備	協働	短期
3	農作業繁忙期の対策について (短期間でも入院(入所)を受け入れてくれる施設の確保)	・受け入れ施設に協力を依頼する	協働+民間	短期

【子育て・教育】

	課 題	対 応 策	役割 (行政・協働・地域)	いつやるか (短期・中期・長期)
1	子どもの子育て環境について (学校統合により地域の魅力がなくなる) (三泉小学校の児童が少ない) (学校が地域になくなるデメリットをうめるものとは) (ふるさと公園以外の遊び場が少ない)	・学校を中心とした活性化。(施設、宅地化等) ・子育てへの協力(相談、住まい、学童) ・ふるさと公園に遊具を設置 ・保護者同伴を条件に公民館(分館)を開放 ・他学区からの児童の受入	行政	中期

【コミュニティ】

	課 題	対 応 策	役割 (行政・協働・地域)	いつやるか (短期・中期・長期)
1	地域コミュニティが希薄化 (町内会が成り立たなくなっている(役員を引き受けてもらえない)) (三泉地区の6つの町会は、将来統合を考える必要があるかもしれない)	・イベントの実施等による地域の活性化 ・地域の方が集まれる場が欲しい ・自分たちのことを自分たちで決めたり行ったり評価を住民が認識する ・田舎ならではの自治の能力を高める ・地域の人づくり、連携を強化 ・町内会のコミュニケーションづくり	地域	長期
2	コミュニティセンター(地区公民館)について (単独の地区公民館がない) (JA三泉支所跡は地域のコミュニティセンターとして利用できないか)	・三泉地区は東部地区公民館の一部となっており、地域の活動の拠点として地域内にコミュニティセンターが必要 ・避難所としても使用できるような施設にしていきたい	行政	長期

【防災】

	課 題	対 応 策	役割 (行政・協働・地域)	いつやるか (短期・中期・長期)
1	避難所の確保や運営について (指定避難所に指定されている三泉小学校の統合後の在り方) (避難所運営についてわからない)	・地域の公民館の避難所機能を強化する ・自主防災組織の強化	協働	中期
2	消防団員の確保について (消防団員の担い手不足) (消防団の担い手となる20~30歳代の人がない → 人口減少が要因)	・予備消防団(退団後5年間など)を創設する ・女性消防団員に興味をもってもらう ・機能別消防団の導入	協働	中期
3	災害時の対応について (大規模災害の地域と消防団の連携が取れていない) (三泉は火災の少ない地区で、防災意識が低い) (寒河江川に近い三泉だけに、防災意識を高める必要がある)	・避難訓練など自主防災組織活動の取り組み強化 ・三泉全体で危険箇所等の防災に対する情報を共有	地域	中期
		・消防団を含む各種団体との役割分担の明確化	協働	
4	寒河江川の防災対策について (河川敷・堤防・護岸の整備) (不法投棄の原因)(雑木が生え景観が悪い)	・河川管理者に継続して依頼する ・自転車専用道路の修繕 ・地域によるクリーン作戦の強化や不法投棄防止の看板を設置する	行政(県) 協働	中期

【インフラ】

	課 題	対 応 策	役割 (行政・協働・地域)	いつやるか (短期・中期・長期)
1	医療の充実について (河北病院の統合により近くの医療機関がなくなる) (休日、夜間も小児科など専門医に受診したい)	・ 県立河北病院から比較的近距离の三泉地区に新病院を設置 ・ 医療機関の誘致 ・ 新たな統合病院に診療体制の充実を要望する	行政	中期
2	道路の整備等について (地区内の道路が狭い) (見通しの悪い通学路の対応(要望書提出済)) (街灯が歩道の反対側にあり、防犯上有効ではない(夕かへ～道生間)) (通学路の除雪が通学時間まで間に合わず、車道を歩いて登校) (側溝の蓋が未整備の箇所があり危険) (ガードレールが無く危険(農道:道生の堰))	・ 交通安全や防犯上から市に対応を要望する ・ 登校時間を考慮した歩道除雪の実施	行政	短期
3	三泉小学校の統合後の跡地利用について (三泉小学校が廃校になることへの不安) (地域の人が集える場所を作る) (有効活用の検討)	・ 地域の活性化に繋がる施設となるように検討 ・ 指定避難所として活用していく ・ コミュニティーセンターに使用	協働	中期

【空き家】

	課 題	対 応 策	役割 (行政・協働・地域)	いつやるか (短期・中期・長期)
1	空き家対策について (空き家の増加) (空き家があるのに賃貸されない) (空き家の管理・活用) (空家の植木が道路(通学路)にはみ出している)	・ 空家対策の強化 ・ 行政による空家対策の橋渡し役 ・ 空き家になる前から方針を検討したり意思表示できる仕組み作り ・ 葬儀業者を活用した空き家対策 ・ 空家情報の提供による利用希望者とのマッチング促進 ・ 新規就農者に空家と農地をセットで紹介	行政 行政+民間	中期

【まちづくり】

	課 題	対 応 策	役割 (行政・協働・地域)	いつやるか (短期・中期・長期)
1	観光客の周遊性の向上について (チェリーランドから観光さくらんぼ園、慈恩寺)	・ チェリーランドから三泉側に橋(自転車道)を架ける	行政	中期
2	地域間の均衡の取れた都市計画について (陵南エリアに集中する商業施設や住宅を分散)	・ 陵東中西側から高松までの農地を開発し、病院、学校、大型店舗、工場等を誘致する ・ 市東部、西部の中心施設等開発に力を入れる	行政	長期
3	交流人口の増加対策について	・ 趣味性の高い分野で「聖地」と呼ばれるような特徴を創出し、市外からの訪れてもらえるような取組をおこなう	協働	長期
4	良質な水を活かしたまちづくりについて	・ 良質な地下水を活かした製造業の誘致、起業	協働	長期

【その他】

	課 題	対 応 策	役割 (行政・協働・地域)	いつやるか (短期・中期・長期)
1	市議会議員がいないことへの不安		地域	中期
2	住宅地が少ない(宅地開発)	・自治体との連携による開発	行政+民間	長期
3	市民の幸福感を第一に考えていることを具体的に実行して欲しい		行政	長期
4	さくらんぼ会館を地域の集まりの場として様々なイベント等を実施	・地域の活性化、振興に活用	行政	長期
5	河川敷にイタドリが繁茂しているのできれいにし、食材として利用できないか		—	—
6	泉質の良い日帰り温泉がある 吉乃ゆを活かし、郵便局、コンビニ、ATMなどをまとめて再開発できないか 農協の建物から吉乃ゆまで遊歩道を整備できないか 吉乃ゆ・飲み物・やきとり・ビール・タクシーのセットチケットの販売できないか	・三泉温泉(吉乃ゆ)を憩いの場として活用	—	—
7	三泉地区内の繊維工場に外国の方が勤務している	・更に外国労働者を受け入れる	—	—
8	豆腐の製造会社がある	・地域の活性化、振興に活用	—	—
9	スイミングクラブがある			